

P コン補修用モルタル

P コン（丸セパ）の穴埋め

施工要領書

株式会社マノール

1、使用材料

1-1

仕様

製品名	P コン補修用モルタル
仕様	Aタイプ/Bタイプ
荷姿	5 kg×4 袋/箱
練り混ぜ水量	1.1 kg～1.2 kg/5 kg
練上り量	約 140 (3.4～3.50×4 袋)

1-2

施工目安

推奨施工塗厚	0 mm～25 mm
--------	------------

φ 24/30×h25 mm	約 930 箇所/1 箱
----------------	--------------

1-3

特長

- ・速硬性の為、工期が短縮できます。
- ・保水剤配合の為、作業性に優れます。
- ・痩せの無い、無収縮タイプです。
- ・再乳化粉末樹脂を配合している為、防水性があり、なおかつ強力な接着力を発揮します。

1-4

凝結時間

硬化時間の目安	気温 30℃	気温 20℃	気温 5℃
Aタイプ	10～15 分	30～45 分	60～90 分
Bタイプ	20～30 分	60～90 分	120～180 分

2、施工手順

2-1

下地処理 吸水調整

①下地のレイタンス、脆弱部、埃、油分などをワイヤーブラシ等を用いてケレン・清掃・除去して下さい。

※ 充填箇所のセパレーターに錆が発生している場合は、ワイヤーブラシ等でケレン・清掃後、マノール防錆剤を塗布して下さい。

※ マノール防錆剤は約 30 分（気温 25℃）で乾燥します。指触確認を行って下さい。

②除去・清掃後、下地に十分な水湿しを行い、湿潤状態にして下さい。



ケレン・清掃



防錆剤の塗布（必要な場合）



水湿し

2-2

混練

①標準調合により約 3 分間混練して下さい。

「P コン補修用モルタル 5 kg」に対して「水 1.1～1.2 kg」です。

※ 速硬タイプの為、一度に施工可能な量にて混練して下さい。

※ 可使時間は 20℃の場合、約 30 分です。

※ 標準調合を厳守してご使用下さい。水量が多いと収縮の原因となります。

2-3

塗付け

①混練した P コン補修用モルタルを指先などで下地により密着するように充填して下さい。

※ 充填は奥に隙間の残らないように充填して下さい。



充填
（内側により密着するように）



充填
（隙間の内容に充填）

2-4

仕上げ

①塗付けた材料の水引きを見計らって、面合せの場合は金ゴテ等で、面落ちの場合は専用ゴテ等を使用し平滑に仕上げてください。

②仕上後、適切な養生をして下さい。



面合せ



面落ち

3、施工上の注意事項

- 1、混練不足はひび割れの原因となりますので、良く攪拌して下さい。
- 2、混練水量は正確に計量して下さい。
- 3、凝結時間にご注意の上、施工して下さい。速硬タイプの為、一度に施工可能な分にて混練して下さい。一度硬化が始まったモルタルの練り返しはしないで下さい。
- 4、夏期の気温が高い日は、粉体及び練混ぜ水の温度が上がり過ぎないように適切な処置をして下さい。

4、使用上の注意事項

- 1、外気温が5℃以下での施工は避けて下さい。
- 2、夏期の気温が高い日は、粉体及び練混ぜ水の温度が上がり過ぎないように適切な処置をして下さい。
- 3、砂、セメント、混和液などの他材料を混入しないで下さい。
- 4、取扱いの際には、保護具（手袋・防塵マスク・保護メガネなど）を着用して下さい。
- 5、目に入った場合は清浄な水で15分以上洗浄し、直ちに医師の診察を受けて下さい。
- 6、皮膚に付着した場合は速やかに水で洗い流し、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。
- 7、飲み込んだ場合は、水で口の中を洗うと同時に胃内容物を嘔吐させ、直ちに医師の診察を受けて下さい。
- 8、使用前に必ず安全データシート（SDS）を熟読ください。